

仕 様 書

第1 件名

香芝市クビアカツヤカミキリ防除事業業務（特定外来生物防除等対策事業）

第2 目的

香芝市内において、特定外来生物に指定されているクビアカツヤカミキリの被害が急速に拡大していることから、対策が必要であるため防除薬剤の樹幹注入を行うもの。

第3 業務期間

契約締結日から令和8年1月31日まで

第4 場所

別紙「クビアカツヤカミキリ防除管理表」及び図面参照

第5 防除方法

薬剤の樹幹注入（樹幹部に注入孔を開け、薬剤を注入する）

第6 施工上の留意事項

- 1 使用薬剤は、マクロライド系殺虫剤を成分とするもので、農薬登録を受け以下の条件をすべて満たしているもの。
 - （1）サクラを対象にしていること。
 - （2）クビアカツヤカミキリに適用のあるもの。
 - （3）使用方法是幹に注入孔を開け注入するもの。
 - （4）希釈せず使用するもの。
 - （5）有効期限内であること。
- 2 薬剤の注入について
 - （1）薬剤販売元で定めている使用安全基準、使用方法を遵守すること。
 - （2）穿孔、注入する前に対象樹木が枯死していないか確認すること。枯死している場合は、その樹木への穿孔、注入を中止し、担当職員に報告して指示を受けること。
 - （3）注入部位は薬剤販売元で定めている位置ではなく、地際部～5 c mの樹幹とするが、分枝、剪定枝、節、瘤等の直下からの注入は薬液の分散が悪くなるので避けること。また、空洞や腐朽部も避けること。
 - （4）穿孔は、ドリル等を斜め下方に向けて行い、孔径5 mm～6 mm 程度、孔深5 cm程度の注入孔を開ける。注入は、薬液が形成層に触れないよう充分

に注意して注入容器のノズル先端を深く押し込んで行うこと。

- (5) 薬剤は樹木毎に1本単位で使用する。
- (6) 薬剤を加圧注入する場合は、専用の注入容器を用いること。注入孔が複数となる場合は、樹幹の周辺に等間隔に分散させること。
- (7) 対象木が二股以上に分かれている場合、それぞれを1本の木とみなして所定量を処理すること。
- (8) 注入中は通行人等が薬剤容器に触れたりされないよう安全に配慮して管理すること。
- (9) 薬剤が完全に注入されたことが確認できたら、速やかに空容器を回収し、回収忘れがないよう確認すること。
- (10) 注入が終了した孔には、雨水や雑菌等の浸入および樹液流出を防ぐため、殺菌癒合剤、被覆塗布剤、木栓等で充填して適切に処置すること。
- (11) 注入したサクラには薬剤名、注入年度、樹木番号等を記載したラベルを地上1.5m超に貼り付けること。
- (12) 本薬剤は、自動車、壁等の塗装面、大理石や御影石等に付着すると変色するおそれがあるので、こぼしたり、飛散させたりしないように注意すること。
- (13) 作業機械や道具類、剪定枝葉や刈草、土砂、ごみ類は、交通及び保安上の障害とならないよう、作業の都度整理し、速やかに搬出する。風等で園路や近隣に散乱しないように注意する。
- (14) 作業終了後は、荒らした地面等や散乱した枝葉があれば、その修復や清掃を行うこと。
- (15) 架空線（高圧線、通信線等）の影響や急傾斜地等、作業の安全性が確保できない場合は、その後の対応について担当職員と協議すること。
- (16) 本薬剤の使用に当たっては、使用液量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、関係行政機関、販売会社等から指導があれば、それに従うこと。

3 安全管理について

- (1) 安全の確保を全てに優先させ、労働安全衛生法等関連法令に基づく措置を常に講じておくこと。また、道路交通の妨げにならないよう、危険箇所や必要と思われる場所には、標識等を設置し、安全を確保しなければならない。
- (2) ガソリン、薬品等の危険物を使用する場合は、その保管及び取扱いについて、関係法令の定めるところに従い、万全の方策を講ずる。
- (3) 作業の施行にあたり、施設、樹木等を損傷しないよう十分注意し

- て施行する。万一損傷した場合は、直ちに担当職員に報告するとともに応急措置を取り、受託者の負担で原形に復旧する。
- (4) 本薬剤を誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせること。
 - (5) 本薬剤は眼に対して刺激性があるので、注入の際は保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
 - (6) 作業の際は保護眼鏡、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン及び長袖の作業衣を着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼及びうがいをすること。
 - (7) 作業員以外の者、特に子供等が薬剤、容器に触れないよう注意し、注入中は作業現場に近づかないように配慮すること。
 - (8) 本薬剤の保管に際しては、火気や直射日光をさけ、食品と区別し、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。
 - (9) 指定可燃物（可燃性液体類）に属するので火気には十分注意すること。
 - (10) 人身事故、災害、または第三者に損害を与える事故等が発生した場合は、応急処置及び二次災害防止措置を講ずるとともに、事故発生の原因、経過及び事故による被害の内容等について、直ちに担当職員に報告する。
 - (11) 注入作業前に作業を予告する看板を設置すること。また、作業中及び作業後（1日程度）についてもそれぞれ看板を設置し、通行者等へ注意喚起すること。
 - (12) 注入作業中及び作業後（1日程度）においては、上記（12）に併せて、通行者等が対象木へ接触しないよう縄囲い等を設置し、人体に被害を及ぼさないようにすること。
 - (13) 付近住民または通行人等により苦情や被害が発生した場合は担当職員と協議し、受注者の責任においてすみやかに処理し、その結果を担当職員に報告すること。

第7 業務の記録及び報告方法

1 施工写真について

- (1) 施工写真は、全注入木について着手前、施工中及び施工後の全景と接写、切口被覆塗布剤等の塗布後の接写を撮影し、提出すること。
- (2) 上記写真には、施工年月日及び施設名、樹木番号を記載した黒板等を写り込ませること。
- (3) 薬剤について、使用前後の状況が分かる写真を撮影し、提出すること。

2 処理記録について

別記様式「クビアカツヤカミキリ防除管理表」の内容を踏まえて本業務を実施し同表に処理記録を作成し提出すること。

3 提出書類について

(1) 業務完了届

(2) 業務記録写真（CD 1 枚）

(3) 別記様式「クビアカツヤカミキリ防除管理表」

第8 費用等

業務の実施に必要な車両・手袋等物品の調達及び廃棄物の処理等については受注者が一切の費用を負担するものとする。

第9 その他

本仕様書に定めのない事項・又は疑義の生じた事項等については、双方協議のうえ、受注者の責任において処理するものとする。